



平成 21 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 太平洋セメント株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 徳植 桂治  
 (コード番号 5233)  
 (東証第 1 部、福証)  
 問合せ先 IR 広報 部長 塚原 宏  
 (TEL 03-6226-9018)

投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額（特別損失）、  
 過年度法人税等の計上及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

平成 20 年度決算において、下記特別損失及び過年度法人税等を計上し、繰延税金資産の一部を取り崩す見込みですので、お知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の計上

当社が保有する投資有価証券及び関係会社株式のうち、時価が簿価に比べて著しく下落し、その回復が困難であると認められたものについて、平成 21 年 3 月期決算において減損処理による投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損を計上します。

平成 21 年 3 月期の投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の総額（概算）

	連結	個別
(A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)の投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の総額	7 億円	17 億円
(イ)平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで) の投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の総額	69 億円	395 億円
(ロ)直前四半期 (平成 21 年 3 月期第 3 四半期) 累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで) の投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の総額	62 億円	378 億円

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

※四半期における有価証券の評価方法は洗換え方式を採用しています。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	連結	個別
(B) 平成 20 年 3 月期末の純資産の額	3,275 億円	2,073 億円
(A/B × 100)	0.2%	0.8%
(イ/B × 100)	2.1%	19.1%
(C) 平成 20 年 3 月期末の経常利益額	416 億円	129 億円
(A/C × 100)	1.7%	13.2%
(イ/C × 100)	16.6%	306.2%
(D) 平成 20 年 3 月期末の当期純利益額	204 億円	22 億円
(A/D × 100)	3.4%	77.3%
(イ/D × 100)	33.8%	1,795.45%

## 2. 貸倒引当金繰入額（特別損失）の計上

個別決算において債権の回収可能性を検討した結果、主に連結子会社に対して、保有資産の評価額の減少などにより、貸倒引当金繰入額として127億円を計上します。

主な内訳は、サンシン電機インターナショナル株式会社38億円、TCCホールディングスラブアン株式会社34億円、クリア管財株式会社15億円、道央資源開発株式会社7億円、市原エコセメント株式会社7億円です。

なお、連結決算において損失の大半が相殺消去されますので、連結業績への影響は僅少です。

## 3. 過年度法人税等の計上

当社は、東京国税局より平成17年3月期から平成19年3月期までの課税年度について税務調査を受け、それに基づく法人税等についての更正通知を受領しました。

主な指摘事項は、土地等の譲渡益に対する固定資産の圧縮記帳の適用に関するものであります。当社と致しましては、意見の相違に起因する部分はあるものの、当社として改善すべき点もあり、更正を受け入れることとし、平成21年3月期連結及び個別決算において、15億円を過年度法人税等として計上します。

## 4. 繰延税金資産の取崩し

当社は、明確な配当方針に基づき海外子会社からの配当が確実に見込まれるとして、繰越外国税額控除額を繰延税金資産に計上しておりました。「個別財務諸表における税効果会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会 会計制度委員会報告第10号）の平成21年4月14日付の改正を受け、上記の適用ができなくなったことから、繰越外国税額控除に係る繰延税金資産21億円を取り崩します。

## 5. 今後の見通し

本日、個別決算の通期業績予想につきまして修正しております。

以 上